

## 夏場の冷えに着目、 コト売りの提案を強化

砂山靴下(株)

砂山靴下(株) (東京都葛飾区、砂山直樹社長) は、2024年春夏向け商品の展示会を開催し、商品を使うことで得られる体験や感動などの価値に焦点を当てるコト売りの提案に力を入れた。

暑さ対策に注目が集まりがちな夏向け商品群の中にあって、同社は冷房による夏場の冷えに着目。吸湿発熱性を備えた極薄素材の薄熱レッグウォーマーなど冷え対策に効果的なアイテムを“day time” “home” “sleep” のシーン別に展開する売場提案を行った。自社商品のEC販売データを分析した結果、夏場は気温が高い日ほど発熱インナーなどの冬用商品の売上が伸びていることから、夏場の冷え対策グッズの潜在ニーズの高さを再認識。この分析データを流通とも共有することで導入拡大を図っていく方針だ。砂山直樹社長は「フェムケアの一環として女性のQOL向上のため小さなニーズも拾い上げていきます」と意気込みを語る。10月5日から7日までの期間、東京ビッグサイトで開催されるフェムテック展示会「Femtech Tokyo」では、リブランディングしたフェムケアブランド「carelance (ケアランス)」もお披露目する。

展示会では、接触冷感にミント加工・キ



シリトール加工をプラスすることで冷感が持続する素材を使ったアームカバーやハンドカバーのほか、UPF50+を誇るUV対策に効果的なネック&フェイスカバーなど、猛暑を乗り切るアイテムも様々な切り口で展開。また、「素肌をきれいに見せるアームカバー」はストッキングのような薄手の素材を採用。素肌に合わせて選べる全3色展開で、日差し対策はもちろん、年齢による素肌の悩みもカバーできると注目を集めた。

新商品の麻素材を使った「麻 Blend」はトゥーレスソックスとアームカバー、レッグウォーマーをラインアップ。アームカバーは内側に冷感機能のあるポリエステルを使用し、フィット感を高めるなど細部の設計にまでこだわった。この他、外出機会の拡大に伴い、虫よけ効果のある「Insect Shield」の引き合いが増えており、従来のトップスやレギンスに、足まわりのアイテムを加えて訴求を強めた。